

昭和九年九月二十日

皇國農民同盟本部ニュース第八號

愛國農民運動ノ基調

村ハ人ノ體ニ譬ヘ得ル。

カラダハ頭ヤ肩ヤ手足ノ寄セ集メデハナウテ生レ落チルナリ五官モ
備ツターツノ體デアツタ如ク村モ村民ノ寄り合ヒ世帯デハナク全体
トシテ共同ノ理想ヲ持チヨリ善ク生キントスル人々ノ共同體デアル

△ △ △ △ △

完全ナ體ハ頭カラ手足ノ端ニ至ル迄ヨク均整ガトレテ發達シ五官
共ニソノ機能ヲ發揮シテ相助ケ合ツテキル。健全ナ村モ之ニ同ジ、
村人ノ生活ハ均整ガトレ人々協力シテソノ日ヲ樂シムノデナケレバ
ナラヌ。村ハ元來協同體デアル。協同體デナケレバ村ハ破滅スル。

△ △ △ △ △

之ニ反シテ株式會社ノ様ニ利害ニヨル人間ノ集合デアルトスル時

ハソコニハ株主ガ配當金ヲ追フテ競リ合フヨウニ人ハ利益ノ大トナ
リ、自分ノ利害ノ前ニ他ヲ犠牲ニシ合フ個人主義ヤ唯物思想ガ支配
シ強イ者勝チノ修羅場ヲ繰リ返シテ行ク。

△ △ △ △ △

協同體ハ、然レ臭イモノニ蓋ノ事勿レ平和主義デハナイ。

相協力ハ原則デアルガ、カラダノ腐ツタ箇所ヲ切り捨テタリ、胃病
ニハ苦イ藥ヲ飲ムヨウニ眞ノ協同體ヲ實現スルタメニ闘フ可キモノ
トハ斷乎トシテ闘フ。

△ △ △ △ △

注意スベキハ人ハ食フコトハ生キンガ爲メデ、食フ爲メニ生キル
ンデハナイ。村ノ一人々々ノ經濟モ、又全体ノ經濟モ全村民ガ共ニ
働キ共ニ樂シム協同體ヘノ理想ニ合フモノデナケネバナラヌ。
個人主義ヤ唯物思想ノ行キ詰リハ西洋デ見ルヨウナ直ノ革命ニヨル
清算ノ外ナイ。